

第二〇八回ペン川柳会

令和三年九月二十七日

お題 「荒・荒れる」

■ 塚田 (拿々)
ただ

テレワーク家の天気は荒れ模様
人生の荒波越えた悔いはなし

■ 稲宮 (井波)
いなみ

寿命延び荒ら屋(あばらや)先に崩れかけ
アフガンで夢は荒野をかけ廻る

■ 西川 (酔雅)
すいが

ワープロに振り回されて筆が荒れ
荒れるだけのちが縮む八十路かな

■ 山縣 (安兵衛)
やすべえ

大荒れで総理辞めたら株上り
永田町すったもんだの荒模様

■ 八木 (明迷)
めいめい

レース荒れ口にするのはタラとレバ
荒治療正しく言えば荒療治

■ 曾山 (酩帝)
めいてい

また飲んだ一荒れありそ明日の朝
吹き荒ぶ嵐に揉まれ今がある

■ 三春 (火酒)
ウオツカ

荒海や誰が舵とる自民党
女将さんモンテカルロで賭場荒らし

■ 細谷 (損得)

そんとく

飲む度に荒れる気持ちは何としよう
荒城の月とは実は運の尽き

世話人 塚田 實(拿々)

だだ

■ 松谷 (零門)

れいもん

荒廢地増やさぬ知恵に十億円
ご用心連休あとのコロナ荒れ

■ 大野 (だし)

野党には荒れない議会お手上げだ
コロナ禍で荒れる株式スッカラカン

■ 安藤 (晃二)

てるつぐ

堪らない荒野の男ブロンソン
優しい子荒物屋の子利発な子